学　校　名	狭山市立御狩場小学校
本校児童会は、「さやまっ子の誓い」を 承認します　・　承認しません	

本校のいじめ防止に関する実践

1　主な取り組み

令和4年度

御狩場小学校　ハッピースマイル活動

- 毎月第2，4週目 ハッピースマイル あいさつ運動
- スマイリー班（縦割り班）活動
- 相談室利用の促進
- ありがとうレター
- スマイリー班（縦割り班）での清掃活動

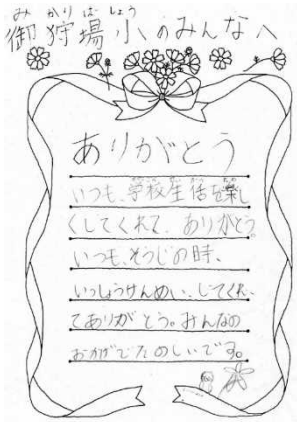
（1）「ありがとうレター」の取り組み

6年生が「ありがとうレター」を提案してくれた。

●6年1組　福永さんの提案文●

> ありがとうレターというのは、全校のみんなのいいところを手紙に書くというものです。学級代表委員が作ったレター用紙を全校のみんなに配り、全校のみんなのいいところを書いてもらって集めます。そして、シャッフルして各教室に持って行きます。それから、各教室のみんなに配ります。全員がありがとうレターがもらえます。これをすることで、みんなの仲が深まり、学校がより楽しくなると思います。

10月中旬、ありがとうレターの準備が始まった。だれか特定の人ではなく、全校宛に手紙を書くことは低学年にとっては難しいことかとも思われたが、年間を通して縦割り活動（スマイリー活動）で清掃活動や集会活動なども行ってきたため、その時の様子を思い浮かべながらどの子も夢中で書いていた。その書かれた手紙を学級代表委員が集め、全クラスに分けた。11月24日の児童朝会。そこで全校一人一人が書いた「ありがとうレター」が全ての児童に配られた。



各教室で学級代表委員によって配られたありがとうレターをどの子もにこにこしながら読んでいた。たどたどしいひらがなの手紙をもらった6年生や、全校のことを思う気もちがしっかりとした字で書かれた手紙をもらった1年生。教室には静かであたたかい雰囲気が漂い、とても素晴らしい朝の時間となった。

２　成果と課題

今年度もコロナ禍で、様々な活動が例年とは違うようにせざるをえない状況であり、身体的なソーシャルディスタンスが心のソーシャルディスタンスにつながってしまうのではないかといじめや不登校などの心配も大きかった。

しかし、その中でも、例年通りみんなが仲良くするために何ができるかを考え、児童主体の取り組みができた。前記の取り組みの他にも、密になってしまう縦割り遊びができない代わりに、全校でソーシャルディスタンスを保って校庭でダンスをしたり、ハイタッチや大きな声であいさつ運動ができないので手を振るハッピースマイル運動を 6 年生が率先して取り組んでくれたりしたことで、児童のつながりが例年にも増して強くなった気がする。学校生活アンケートで学校が楽しいと答えた児童は 92%おり、昨年を上回った。休校から始まり、子供たちにとって不安な 1 年だったであろう。しかし、身体的に友達と密にならないようにと考えたことが友達同士の心の密を生み、より一層友達の大切さ、お互いを思いやる温かい気持ちが芽生えたのではないかと思う。